

平成26年度 南区まちづくりに関するご意見

【①「南区を知ろう」(情報受発信)事業の充実】についてのご意見

<まちづくり懇話会>

- ・「南区を歩こう～まち歩き手帖」にある情報は南区を高めたのではと思うし、これは本当に宝物。これを教材に、南区のいい所を区民に知ってもらい、伝えていくことが大事。南区として区内外、県内外にも広く情報発信してほしい。
- ・市民がまちづくりに対しての提案・意見があるときや、活動の内容をもっと知らせたいといった場合に、気軽に集まれる場所があれば、そこが情報交換の場所になる。まちづくり交流室は区の要。情報交換の場所としてハブの役割を担うのではないかと思
- ・市民活動の情報発信の場を設けて欲しい
- ・区だよりの発行で、現地に行かなくても、こういう取り組みがあっているといった情報を知ることができ、まちづくりに関してのビジョンの共有ができる。ただ、もっと多くの人に見てもらえるよう各戸配布にしたほうがいい。

<まちづくり座談会>

- ・地域を活性化するようこれまで色々催し等を仕掛けてきたが、やはり情報発信が課題
- ・それぞれのイベントで主催者が変わるので、情報発信が一元化されておらず、情報を求める人はわかりにくいこともある

<まちづくりワークショップ>

- ・校区のお出かけマップのさらなる活用
- ・史跡等観光ルートマップの作成
- ・埋もれた歴史遺産を発掘し、区内外へPRが必要
- ・史跡や自然、観光施設等を結ぶルート設定と移動手段の周知が必要
- ・校区や自治会などのイベントやまちづくり活動のPRが必要
- ・もっと地域の広報誌の活用を
- ・市政だよりは内容は豊かでよいものに
- ・情報発信する場所が必要
- ・まちづくり活動を広く周知することが必要

平成26年度 南区まちづくりに関するご意見

【②まちづくりを担う人材育成の充実】についてのご意見

<まちづくり懇話会>

- ・ 消防団のような団体がまとまっていくと、地域のまちづくりや健康のまちづくりにも関わりが出てくる。問題はそれに興味や関心を持つかどうかだと思ふ。若者が関心を持つような教育や周知が必要だと思ふ。
- ・ 弱者と言われる高齢者、障害者が地域で普通の生活ができるような社会になればいい
- ・ 南区のまちづくりを進める中で高齢化社会という点にも配慮してもらいたい
- ・ 人材育成について、地域ごとの事例を見て、うまくいっているところの仕組みを引用するなどの共有が必要だと思ふ
- ・ まちづくりをするのに一番重要なのは人づくりだと思ふ。まちづくりの担い手なので、「まちづくり＝人づくり」だと思ふ
- ・ まちづくりの後継者となる人材を育てていくことが大事である

<まちづくり座談会>

- ・ 地区を子どもから大人までいきいきと生活できるように地域と連携した取り組みを続けていき、生きることの核になりたい
- ・ 高齢者の方が最後まで南区でいきいきと生きていけるような支援をしたい
- ・ 家族だけではなく地域の方々に育てられたことを忘れずに、子どもたちにもその思いを根付かせていけるような活動をしていきたい
- ・ 新しい居住者とも子どもを介して良好な関係を築いていきたい

<まちづくりワークショップ>

- ・ 次世代の人づくりが必要
- ・ 住民主体の運営となる組織づくりが必要
- ・ 自主防災ができるようにしたい
- ・ 地域ぐるみでの高齢者の見守り活動が必要
- ・ 認知症支援活動や地域でのケアが必要
- ・ 地域が一体となり、みんなが安心して暮らせるまちにしたい
- ・ まちづくりは(人、人材)づくりが重要

平成26年度 南区まちづくりに関するご意見

【③テーマに応じた区のまちづくり事業の推進】についてのご意見

<まちづくり懇話会>

- ・ 防災の取り組みについても、楽しみながらやると、意識を高めることができる。ヨーロッパでは防災の訓練と地域のお祭りが同時開催されることもある。そういう場で、若い人と年配の人がつながり、楽しんでやることが大事。
- ・ 若いお母さん方は新聞を取っていない方もいるので新聞の折り込みだけではなかなか難しい。若い方向けの情報発信を考えていただけたらと思う。
- ・ (川尻での地域間連携のペーロン大会を受けて、)
ただ地域で連携するだけではなく、その後の地域間交流まで持っていくことが大事。ペーロン大会だけでは、「楽しかったね」で終わってしまうが、その1週間後に地域間交流会があり、そこでは地域を越えた色々な話が出ており、地域間を越えた心と心の

<まちづくり座談会>

- ・ 区内の団体同士のネットワークづくりを強化することが大事
- ・ 何か自慢できるものがあると人は元気になるので、団体・地域間で意見を交わす場とそれを認める人を集めることが地域づくりとして重要なものと思う

<まちづくりワークショップ>

- ・ 農産物や特産品等の宣伝・営業活動がいまいちなので、新しい農産物の販売方法を考えてほしい
- ・ 地元の方が作る新鮮な農産物を食べたい
- ・ 農産物を出す人の新たなネットワーク作りが必要だし、イベントや祭りなどで交流できる機会を作してほしい
- ・ 人が集まって一緒にすると仲間意識が出てくるし、地域間で協力することが大事
- ・ 世代間の交流が少なくなったので、竹トンボ、竹馬、パン作り、水鉄砲など昔の遊びを子供たちに伝えて、高齢者と子供たちが交流できるふれあいの場を設けてほしい
- ・ 防災活動が不十分なので、住みやすい町、安心できる町にするために地域で一体となった防災のまちづくりが必要
- ・ 防災意識の向上・防災訓練の強化が必要
- ・ 消防団員が町内の子供たちと一緒に火の用心をやることで消防団と子供会の交流が持てる
- ・ 健康の促進につながる健康づくりのまちづくり活動を広めて欲しい
- ・ 若い人から高齢者の方まで出来るバレーボール大会やグランドゴルフ大会を開催し
- ・ 新たなネットワークづくりのために、イベントを行い、出会いを増やす
- ・ 他地区との交流もほしい
- ・ スポーツ大会などのレクリエーションで交流をはかると地区住民の結束につながる
- ・ 体協、社協の専門部署を作り、イベントの計画や実施をしてほしい
- ・ 転入者を地域になじませるためにもスポーツ大会は重要な役割を果たす
- ・ 子ども見守りたい(サークル)を作りみんなで子どもを育てる仕組みが必要
- ・ 若い人のネットワークを有効利用する
- ・ 新たなネットワークづくりのために地域間で協力し、自然と触れ合うイベントおこし
- ・ 豊かな自然をまちづくりに生かしてきれていない

平成26年度 南区まちづくりに関するご意見

【④地域(エリア)の特性を活かしたまちづくり事業の推進】についてのご意見

<まちづくり座談会>

- ・ 地域を活性化しようこれまで色々催し等を仕掛けてきたが、やはり情報発信が課題となる。しかし、情報発信にはお金が掛かり、運営費だけでやるのは厳しい
- ・ 事務局運営だけでもかなりの費用がかかるが、年間収入は会費収入のみなので、事業を増やすためには寄付金や補助金が必要となる。補助金があれば、活動資金が増え、活動内容も充実させることができる

<まちづくりワークショップ>

- ・ 自治会の補助金が少ない
- ・ 町全体で祭りができるようになれば地域がにぎやかになる
- ・ イベントや祭りが今後どうなるのか心配
- ・ 地域を活性化させるために補助金で何か事業をしたい
- ・ 地元の方や子供たちと一緒にマラソンロード沿いに花を植えたい
- ・ 合併前は町民体育祭やお祭りを開催することで親睦が図れていたのをそれをまた復活させたい。
- ・ 各団体に予算をください
- ・ イベントやスポーツ大会を開催して地域間交流・世代間交流を図る
- ・ 町の花火大会を開催したい
- ・ 転入者との交流会やレクレーション、親睦会などの催し物を開催する
→記録を残す(写真)
- ・ 町の体育大会の運営を地域でしないといけないので補助金がほしい
- ・ 色々なことに住民が自主的に取り組めるまちづくりをやりたい
- ・ 町の成人式を継続させてほしい
- ・ 文化事業(文化祭、小中高の新春書初大会、七夕カラオケ大会)の計画が立てられない(合併特例事業が切れたら)
- ・ 健康の促進につながる健康づくりのまちづくり活動を広めて欲しい